

能代高校東京同窓会
 平成四年度会費納入者名簿(敬称略)
 平成五年三月一日現在 年会費 三千元
 ②は2年、③は3年分振込

- 旧制一期 腰山巳代治 藤田成孝
 二期 並木康三 淡路千代治
 三期 板倉創造
 四期 栗生沢實 近藤三郎 後藤典二 高垣重雄 高田忠夫 藤田成宜 三浦左武郎 武藤裕宜
 七期 高橋富男
 八期 高原英夫 武衛尚道②
 九期 草皆英二郎 塩谷信三 高橋正太郎 中田友也
 十期 淡路輝一
 十一期 安濃五平 東海林俊郎②
 十二期 泉 勇 今 久男 塚本淳逸 奈良善四郎 平泉 修 宮地 昭②
 十三期 勝永金一 工藤文一郎 千葉胤時 安井哲彦
 十四期 石山栄一 小林 武② 佐藤繁三郎 鈴木鋌三郎 高橋隆雄 宮原茂悦 村木良二
 十五期 佐々木満 佐々木喜丸 鈴木喜雄 村田 守 森田良二
 十六期 伊勢隆次 熊谷洋三 近藤 誠 中嶋信雄
 十七期 岩森榮助 梅田恭三 川村幸信 工藤典夫 仙台忠正 高橋義三 茂呂定宏
 十八期 愛沢鉄治 伊藤利兵衛 潮田 巖 塩谷昭二郎 森田繁雄
 十九期 伊藤忠夫 加藤 武 日下部道夫 小林 肇 佐藤達郎 千葉孝夫 古内保 八木喜徳郎 吉方盛恭

- 二十期 坂本逸郎 東海林毅 高畠 隆 田中巖 大和好
 新制一期 五十嵐嘉久彌 大塚哲郎 金子隆太郎 鈴木良夫
 二期 荒川浩二 小野 喬 金谷兼雄② 金谷芳郎 佐藤真一 塩谷隆二 前田栄太郎 伊藤康孝 梅田卓美 江坂昭夫 柏木祐一 北川京二 信太吉右エ門 谷藤義郎 八杉和夫 山田隆理 山谷正勝 渡部 巽 渡辺利広
 四期 石戸忠五郎 草階郷甫 小林究明② 田畑久雄 塚本一也② 塚本忠志 土井啓有 村井克自 安井浩一 吉田 博 相沢裕雄 秋元孝治② 伊藤和夫 大倉太助 設楽義雄 清水良二 成田憲司 芳賀 徹② 三田 登 宮腰孝一 八杉弘行
 五期 倉太助 設楽義雄 清水良二 成田憲司 芳賀 徹② 三田 登 宮腰孝一 八杉弘行
 六期 金丸 正 金子勝信 木村信逸 小山黎子 佐藤正名 塚本昭次郎 畑江道弘 山谷金治②
 七期 宇瀬徳彦② 岡部 忠 栗原俊一 佐々木胤麿 高田嘉子 那須秋男 納谷六郎 平川明三郎
 八期 池内広之 板倉富彌 今立甲矢雄 京敬一 北村祐三 近藤勇夫 斉藤史郎 佐々木高博 佐藤五郎 嶋田拓爾 杉崎孝雄 須藤 正 畠山信孝 馬場ノリ 原田幸朗 平川国一 堀 良三 野呂幸朗 本庄敬雄 松橋重美 宮腰英彌 八柳昭義
 九期 石岡忠治 梅田政男 金沢 稔 栗原優子 斉藤秀夫 佐々木隆 佐藤 斎 七戸節雄 田中郁三 田中総利② 樽森 寛 平川文雄②
 十期 穴山勝良 石川輔宏 雄鹿豊彦 塩谷 惇 柴田 武 柴田 睦 東海林郁三
 十一期 須田正巳 長野谷青史② 古内 仰 松野 肅 三浦義輝 水木初彦 宮腰達朗 赤塚鉄男 石川正順 太田勝治 大高幸夫 糟谷 愛③ 島田雄右② 塚本祝永② 畠 辰宏 宮腰瑞夫
 十二期 小島セイ 千田浩一 堀内英紀② 野中啓右
 十三期 大倉報三 神尾昌俊② 小林武廣 庄司政義 城野攻一 須藤靖夫 高松和夫 三浦永夫
 十四期 磯部 博 高田政勝 佐藤 博 山田孝行 大和東悦
 十五期 越後谷達雄 小林勝彦 桜田真人② 戸松勇一 播磨谷謙哉 船山 稔 堀内忠人 矢木信章
 十六期 岸部達行 小松世和 斉藤彰悟② 平沢正典 平沢徳子
 十七期 小山内与治兵衛② 佐々木正男② 平澤正知② 本庄瑞彦 横田真理子
 十八期 男鹿谷浩市② 小林公雄 田村規清② 浅野 譲 今野廣隆 大倉久史 加茂谷純一 小林雅夫 笹村八州 武田正 若狭秀己
 二十期 青柳信夫 川村忠義 坂田二郎 佐々木慶二 柴田真理子② 袴田忠夫 袴田政廣 畑沢鉄三 松村ひとみ②
 二二期 大高正典 大塚 進 金野峻明 菅原涉 関 隆男 直嶋博明
 二三期 加賀谷良博 熊澤朝子 三戸和幸 智田 農 松岡 亨
 二三期 小河範也 高畑 仁
 二五期 小林 彰 佐藤義宏 高橋敦子
 二六期 石川幹夫 佐保田朋子
 三十期 斉藤昌哉
 三二期 鈴木裕美子
 以上、二百七〇名 合計 八九九、〇〇〇円

町の活動成果を一堂に

藤里町（旧藤琴村、粕毛村を合体）

十一月七、八の両日、町民祭「ふるさとみれあいフェア」が開催され、広域体育館や開発センター、借栗荘などを会場に、町の農林業・商工業・芸術文化など、町民の今年の活動成果が披露された。



広域体育館では、農産物や特産品、一般商品「虹のいえ」の生産物などの展示即売、白神山地ワインの試飲会などのほか、今年の高齢者アイサービス利用者の作品展示販売や古本市も開かれた。また、農協婦人部が「だまっこもち」作り競争を行い、訪れた人に振る舞っていた。開発センターや借栗荘では、各種文芸作品の展示や芸能発表会のほか、羊毛つむぎの実演や町民有志の「ぶらすの会」による家庭廃油からの石鹸作り実演などが行われた。

観光の中心「ハタハタ館」の建設

八森町（旧八森村、岩館村を合体）

八森・岩館海岸は、県立自然公園に指定され、夏の海水浴時には県内外から大勢の観光客が訪れる。ブナ原生林の白神山地三千釜の清流などの山や河川のすばらしさも町の観光のポイントである。この景観を基本にした観光の中心がハタハタの里作り。その核となる施設が御所の台に建設中の「ハタハタ館」で、今年十月末の完成をめざし、着々竣工中。

鉄筋コンクリート構造の三階建てで敷地面積二千二百七十四平方メートル。駐車場は二百台を収容し、団体客用の大型バスも十分受け入れられる。近隣には、海水浴場や町営野球場、山村広場、キャンプ場などがあり、観光客のさまざまな要求に応えることができる。

一階は初めて八森を訪れた人たちに、ます八森町を知っていただくホールで、訪れた人たちが自由に出入りできる。

町の農林水産物の展示コーナー及び海・山・施設などの観光地を映像で紹介するシアターも設けられる。トイレも完備。ドライブの途中に寄っていただくもよい。

二階には休憩室などの広間が用意。百二十畳の大広間は、お祝い事の会場として、また宴会場としてだれでも利用できる。

三階は温泉を利用した浴場。男湯、女湯それぞれに一般浴場はもちろん、2種類の超音波風呂（泡風呂・ジェット風呂）、低温・高温サウナ、うたせ湯、そして屋外には海岸を一望できる自慢の露天風呂ができる。洗い場もゆつたりした広さになっており、スポーツ・レジャーのあとの疲れも、これですっきりとれること間違いなし。

たった一人で観客四百五十名を魅了

浅利香津代の一人芝居「影法師」

琴丘町（旧鹿渡町、上岩川村を合体）

一月十六日、琴丘町婦人団体連絡協議会と琴丘観光開発公社の共催で、農業暖地センターで浅利香津代さんの一人芝居「影法師」が上演された。

午後五時三十分開場予定の会場に、四時前から観客が詰めかけ、開演の六時には、能代市や大潟村など町内外から四百五十名を超える観客でいっぱいになった。

舞台は、髪結いのおしのが、死んだ亭主の仏壇を相手に一杯やりながら、出会いから夫婦になり死別するまでを、軽妙なユーモアとしみじみとした情緒をまじえながら語る。

おしのに共感し、幾度となく会場全体が笑いの渦に引き込まれたが、「二つの影法師も絵になるが、三つの影法師には温もりがある。三つの影法師が夢だったが、今は一つになってしまった」という語りに、会場は静まり目頭を押さえる姿が見られた。

